



盛岡市への  
企業版ふるさと納税のご提案

令和6年6月 日  
盛岡市環境企画課

# 01 企業版ふるさと納税の概要



国が認定した地方公共団体の地方創生プロジェクトに対して企業が寄附を行った場合に、**法人関係税から税額控除ができる仕組み**。令和2年度より、制度が大幅に見直しされ、損金算入による軽減効果（寄附額の約3割）と合わせて、最大で寄附額の約9割が軽減され、**実質的な企業負担が約1割**まで圧縮された。



## 例 1,000万円寄附すると、最大約900万円の法人関係税が軽減

- ①法人住民税 寄附額の4割を税額控除。(法人住民税法人税割額の20%が上限)
- ②法人税 法人住民税で4割に達しない場合、その残額を税額控除。ただし、寄附額の1割を限度。(法人税額の5%が上限)
- ③法人事業税 寄附額の2割を税額控除。(法人事業税額の20%が上限)

※税額控除の手続(申告)や算出に関しては税理士や所管する税務署へご相談ください。

**社会貢献**  
企業としてのPR効果  
[SDGsの達成など]



地方公共団体との新たな  
**パートナーシップの構築**

地域資源などを活かした  
**新事業展開**



## 企業版ふるさと納税の寄附件数と金額の推移

- 令和4年度の寄附実績は、前年度に比べ金額が約1.5倍の約341.1億円、件数が約1.7倍の8,390件と増加している。
- 税の軽減効果よりも、**企業としての社会貢献（SDGs達成）にかかるとPR効果や地方公共団体との新たな関係性の構築**を目的としている傾向がある。

区分	H28年度 (初年度)	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度 (税制改正の 施行)	R3年度	R4年度	合計
寄附額 (対前年度増加率)	7.5億円	23.6億円 (+215%)	34.8億円 (+48%)	33.8億円 (△3%)	110.1億円 (+226%)	225.7億円 (+105%)	<b>341.1億円 (+51%)</b>	776.5億円
寄附件数 (対前年度増加率)	517件	1,254件 (+143%)	1,359件 (+8%)	1,327件 (△2%)	2,249件 (+69%)	4,922件 (+119%)	<b>8,390件 (+70%)</b>	20,018件

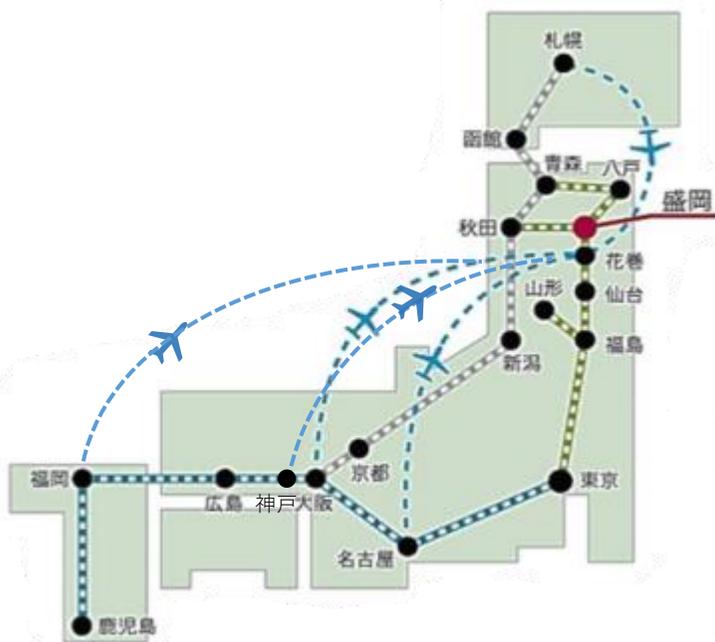
※寄附額については、端数処理しているため、内訳と合計が一致しない場合があります。



内閣府  
地方創生推進事務局  
「企業版ふるさと納税  
について」より抜粋



- 盛岡市は人口約28万人の中核市。新幹線で首都圏まで約2時間というアクセスの良さで様々な都市機能が集積している一方で、盛岡藩主南部氏の城下町として風情と豊かな自然に恵まれた岩手県の県庁所在地です。
- ニューヨーク・タイムズ紙「2023年に行くべき52か所」で「盛岡市」が2番目に選ばれたことで、国内外の方々から注目を集め、ここでしか味わえないグルメや技術の高い手仕事、レトロで美しい景観などを多くの観光客が楽しんでいます。
- 近年は産学官金連携をベースとしたヘルステック事業の展開や、AI・AOT技術の推進等、付加価値の高い産業の育成に取り組んでいるほか、北東北の玄関口である立地を活かし、大規模の産業等用地を整備して、企業誘致を積極的に実施しています。





## ●保護庭園一ノ倉邸の保存と継承

「一ノ倉邸」の庭園と建物は、明治後期に造られた歴史のあるもので、昭和49年に保護庭園に指定されましたが、維持費用が不足し、施設の老朽化が進んでいます。施設の保存に向けた応援をお願いします。



### ・庭園の特徴

3つの中島を持つ大きな池と京都の高尾山から移植したといわれる樹齢100年以上のモミジ類にアカマツなどの針葉樹が加わり、見応えのある庭園です。

(現在は池に水はありません。)



### ・建物の特徴

東京日本橋常盤楼などを模範に造り、木造平屋建数寄屋風の建物に大小14もの和室があり、畳数は140畳に及びます。

### ・復興の花・中尊寺ハス

昭和25年に中尊寺金色堂に安置されている藤原氏四代泰衡の首桶から見つかったハスの種が栽培され、平成10年に復活。

「中尊寺ハス」と命名され、平成24年に一ノ倉邸に株分けされました。毎年その美しい姿で市民を楽しませています。





### 企業のPRに

- 地方公共団体のホームページや広報誌、寄附活用事業で整備された施設の銘板などに当社の名前が掲載されたことで、日頃から付き合いのある取引先や金融機関に対する信用力向上にもつながりました。



- 寄附目録の贈呈の際に、記者発表の場が設けられたことで、自社のCSRを広く周知することができ、企業のイメージアップにもつながりました。



### 企業の継続的な発展に寄与

- 寄附を通じて、人材育成事業を推進することで、地域の人材を育成し、将来的には自社の人材確保につながることを期待しています。



- 寄附を通じて、自社が利用する原材料の生産を促進する事業を推進することで、結果的に自社の原材料確保につながりました。



- 地域経済活性化の取組を応援することで、地域に根差した事業を行う当社の事業運営にも資するものと考えています。



- 地方公共団体の観光事業を応援することで、観光客が増加し、観光業を営む自社の利益にもつながると考えています。



### 地方公共団体等との新たなパートナーシップを構築

- 寄附活用事業に参画するきっかけとなっただけでなく、当該事業に関係する学校法人やNPOなど、地方公共団体以外の機関ともパートナーシップを構築できました。



- 寄附を契機に、地方公共団体と日頃からのコミュニケーションが生まれ、自社の事業に関する相談などをしやすくなりました。



### SDGsやESGに寄与

- 環境保全や脱炭素社会の実現は、自社の継続的な事業運営のためにも重要なテーマですが、自社だけで推進することは困難です。地域の環境保全や脱炭素に係る取組を応援することで、それらを推進できたことは大きな意義があったと考えています。



### 被災地の復興に

- 災害で大きな被害を受けた地域の復興の取組に対して、本制度を活用することで当社にとって最大限の寄附を行うことができました。



### 創業地や縁のある地への恩返しに

- 創業地や縁のある地方公共団体が推進している事業を、寄附を通じて応援することで、恩返しができたのではないかと考えています。



### 寄附活用事業が社員のプラスに

- 寄附を活用して地方公共団体により実施された子育て事業は、当社の子育て世代の社員にとってもプラスになっています。また、社員としては、自分が働く企業が、地方公共団体の子育て事業に協力していることに誇りを感じ、モチベーションアップにもつながっているようです。



内閣府地方創生推進事務局「企業版ふるさと納税について」より抜粋

盛岡市では

### ● 寄附贈呈式・感謝状贈呈式

寄附額が100万円以上の企業様については、寄附贈呈式及び感謝状贈呈式を開催。報道各社へのプレスリリースを行い、取材を斡旋します。

### ● 盛岡市広報媒体への掲載

盛岡市公式ホームページの企業版ふるさと納税のページ及び毎月2回発行する盛岡市の広報紙にて、寄附企業様を掲載します。

### ● 対象事業への意見聴取

寄附事業に対する寄附企業様の意見を伺う機会を設けます。